

間もなく秋も終盤を迎えます。

「さあ、いよいよ！」という思いが身体の深いところから立ち昇ってきます。

「何が いよいよ なんだい？」と、もう一人の自分が問いかけます。

「ほら いよいよじゃないか！」

言われて廻りを見回すと、確かにそんなふうな気がしてきます。

イチョウの葉が どんどん黄色になろうとしています。
いつもなら半分以上落ちてしまっている桜の葉が今年はいくさん!!
強い風で葉っぱが勢いよく舞い散る日が11月にはやってくる
ことでしょう。

どんぐりやまの上の方にざらんざらんとなるドングリの棘立ちの日も
近づいてきました。

今年はまだ2つだけですが、夏みかんの黄緑いろがふくらんで
きました。

おひさまが照りながら 時雨の日も増えてくることでしょう。

長い間続いた「収穫感謝」の期間も しめくりの時が間近です。

昨日はいくさんの妖精が
子どもたちに わくわくおやつを
届けてくれました。

いろいろできるようになった手を使
ってけんちん汁作りをすると
季節はバトンタッチです。



いよいよ 冬を迎える用意と覚悟
が必要です。

一年の中で最も昼間の短い冬至は、新しい光を迎えるターニング
ポイントとなる日ですが、「私はその日に向かって心をこめたクリスマス
を迎える毎日を過ごしていきます。

森のクマは冬眠の準備ですが、私たちの活動は少し眠りには
いりながら、心はとんとん目覚めていきます。

「冬に眠り 冬に目覚める」準備と覚悟が始まる11月です。

寒く なっていく季節で あればあるほど、よろこびの熱を私たちの
内に 呼び起こしたいと思えます。